

OSK

岡山きびの会 「メッセ〜ジ・21」

〇3年7月号



みんな一緒に
生きていく。

赤い羽根
共同募金



ありがとう！

この度、岡山県共同募金会より 平成15年度「赤い羽根ボランティア・NPO育成支援事業」として「KHJ 岡山きびの会」に「居場所活動のための機材整備」(パソコン・ソフト・プリンター整備)資金25万円の助成が頂けることになりました。ひきこもり脱出支援と居場所活動の前進のために皆で力を合わせて取り組みましょう。

募金して頂いた方々に心から感謝申し上げます。

《 7 月 例 会 ・ 次 第 》

- 1) 会長挨拶
- 2) 第2回「グループインタビュー」のお願い
- 3) 事務局報告
- 4) 【今月の主題】 《子どもとのコミュニケーション》
～ 体験交流の中で深めましょう ～

【問題提起】 — コミュニケーション改善へのポイントは何か

【グループ別の話し合い】

- A : 初参加・2回目参加グループ
B : 年齢別グループ … ① 20歳代前半まで
② 20歳代後半 ~
C : 「母親教室」グループ (参加希望を含む)
D : 父親グループ E : 勉強会希望グループ
F : 「グループインタビュー」 G : 「わかば」グループ

【 8 月 例 会 】

日 時 8月10日 (第2日曜日) 13時~16時30分
↑ 注意!

場 所 NTTクレドビル17階・ウィズセンター会議室

主 題 【共に学び、共に歩む】

《 体 験 発 表 》 — 家族会員 Y さん

体験発表を受けて、全体質疑やグループ別の話し合いの中で、
一緒に問題点を深め、互いに学び合っていきましょう。

【 9 月 例 会 】

日 時 9月20日 (第3土曜日) 13時~16時30分
↑ 注意! ↑

会 場 岡山県総合福祉会館 (県立美術館前)
↑ 注意! 岡山市石関町2-1 (TEL. 086-226-3501)

主 題 【全国の経験から学ぶ】

《 講 演 》 — 全国引きこもりKHJ親の会連合会
代 表 奥 山 雅 久 氏

変
更

① 10月例会 → 13日(月・祝) 岡山国際交流センター (岡山駅西口)

② 11月例会 → 16日(日) さんかく岡山 (岡山市表町3-14-1)

《きびの会》第3回『母親教室』

～ 母親が互いに心を開き、まず自分が安心でき、
明るい気持ちで子どもに向き合えるように ～

日 時 7月24日(木) 1時半～4時

場 所 旧・出石小学校 管理棟3階「きびの会」

(もし門が閉まっても、開けてお入りください。)

指 導 元・高校養護教諭 西紀子さん

倉敷市保健所 「家族のつどい」

日 時 7月24日(木) 1時半～3時半

場 所 倉敷市保健所 2階 201会議室 (倉敷市笹沖170)

内 容 参加者同士の話し合い

問い合わせ先 086-434-9820 倉敷市保健所市民健康課 石原保健師

井笠保健所 『思春期を考える親の集い』

日 時 8月6日(水) 10時～12時

場 所 井笠保健所 2階第1会議室 (笠岡市六番町2-5)

内 容 講話 「不登校の日々を意味あるものにするために」

清心女子大学人間生活学部 助教授 清板芳子先生

ディスカッション

<実際の対応を一緒に考えよう!>

『思春期を考える親のフリースペース』

日 時 原則として第3月曜日 1時～4時 (場所:同保健所)

但し、7月→28日(第4月曜) 9月→29日(第5月曜)

連絡先 0865-63-5252 井笠保健所保健課 磯濱・井上保健師

健康対策課への提出書類〔様式1号〕

平成15年度ひきこもり社会適応支援事業計画

団体名 (KHJ岡山きびの会)

開催回数	内 容	参加予定人数 (本人・家族)	場 所
15回	○わかばグループ例会 ・合同例会 ・男女グループ活動	本人・スタッフ 10人	・ウィズセンター ・他
12回	○スタッフ打ち合わせ会 「親の会」役員との協議	役員・スタッフ 8～15人	・旧出石小
3回	○野外活動 ・飯盒炊さん ・スポーツと散策	本人・家族・スタッフ 20人	・旧出石小 ・砂川公園 ・深山公園 ・サウス・レッジ
3回	○体験ボランティア ・農園作業 ・パズル作成	本人・家族・スタッフ 20人	・個人農園 ・旧出石小 ・他
7回	○レクリエーション	本人・スタッフ 10人	・旧出石小 ・他
5回	○パソコン活動 ・資料作成 ・HP作成 ・メール通信 ・パソコン講習	本人・家族・スタッフ 20人	・旧出石小 ・公民館
6回	○他グループとの交流	本人・家族・スタッフ 20人	・先方該当場所 ・他
10回	○学習会 ・居場所活動の推進 ・子どもへの対応	本人・家族・スタッフ 20人～	・旧出石小 ・ウィズセンター

《ひきこもり脱出支援と 居場所構築のために》

1. 《今月の例会のテーマ》

コミュニケーションの改善 → 家が安定した〈居場所〉になり —
家の中で心のエネルギーがたくわえられ、
やがて外に向かって動いていけるように …。

2. 左の『ひきこもり社会適応支援事業』を実現していくためには、 まず、親が行動を起こし、交流と学習を深めましょう。

◎ 子どもたちと一緒に行事に取り組みましょう。

- ・ 「参加したい」
- ・ 「手伝いができる」
- ・ 「経験や情報を持っている」

etc. etc.

— ご連絡ください。

◎ パソコンの活用とコミュニケーション

- ・ 「パソコンを教えてほしい」
- ・ 「うちの子はパソコンを教えられる」
- ・ 「会の資料作成を手伝える」
(出石小で) or (家で)

・ etc. etc.

— ご連絡ください。

3. 親たち自身の場を

- ・ 『土曜日・午前, 出石小』 … 花谷さん一人では月3回が限度です。

- ・ 『親たちのフリースペース』 … 土曜日の午後ともう半日とか、
せめて週に2回、自由に交流できる場を作りませんか。
お茶を飲みながら、気楽に話し合ったり、
関係のビデオやテープで話題を広げたり、
……………

- ・ 『母親教室』 … 西さんの指導で何かが少しずつ動き始めています。

- ・ 『小学習会』 … 月1回, 土曜日の午後などに、テーマや小テキストを
選んで、体験を含めて一緒に話し合ったり、
脱出支援と居場所構築～就労支援も展望し、
とにかく続けていけたら … (継続が力に)

- ・ 『父親の会』 … どなたか音頭をとってくださって、
土曜日の夜でも、 …

【役員会予定】 次 回=8月2日(土) 11時~ 於・出石小
次々回=9月6日(土) " "

6月度例会及臨時総会議事録

大月 大月

日時 平成15年6月22日 13時30分～17時

場所 ウィズセーラー 会議室

出席者 36家族 (注新規加入4家族) 50名 (男性20名, 女性30名)

内容

1. 会長挨拶 川島 会長

2. グループインディビジュアルについて 目的, 方法等王廣坂さんより説明

3. 臨時総会

織井副会長より下記2件提案 満場一致で承認された

(1) 役員(幹事) 2名 選任 (追加)

(2) 会則(附則)には, 役員の名前が含まれており, 役員の変更の都合で会則を改正する必要があるので, 役員名を削除した。

4. 事務局長報告

1) 全開寺津下位職が逝去され, 葬儀に参列した。本会の発足に際し, 格別な御協力をいただいた方なので, 本日御出席の旨, 御供えも御協力いただきました。

2) 6月15日 福山市で開催された斎藤学先生の講演会には, 本会全員が15～6名参加した。

3) さらばおひさま主催の内田良子さんの講演会が7月13日開催される。

4) 共同募金会に助成金を申請して, 申請55団体のうち事務局の書類審査を通過した団体は1つとして, 6月13日事務局に説明のため呼ばれた。 (例会終了後, 助成金25万円決定と通告) 若い団体は3年間の助成金交付の対象となるので, 次年度につなげる活動をした。

5) 8月例会は8月10日(日) ウィズセーラー 9月例会は9月26日(土)

以前使用していた総合福祉会館で開催。

9月例会には, KHJ親の会 本部の奥山会長の講演を予定している。

5. グループ別話し合い 別紙

6. 閉会挨拶 大月

6月度例会グループ別話し合い

Aグループ (初参加 2回目参加) 7名(初参加 4家族5名 2回目 1名)

初参加の方の本人の年齢は 男20, 26, 29才 女 23才 各1名
不登校の経験 2名 高卒 1名 大学卒 2名 (1名は就職経験あり)
本日のビデオの解説と逆のことをやっていた
コラーゲン山に通院し薬を服用したら酒を飲まなくなった

Bグループ (わかばグループ) 6名うちボランティア1名

今後居場所でのいろいろな活動をするかボランティアの廣坂さんと一緒に
副会長おまじめられた原案をもとに話し合い
業後の生活、趣味などについて話し合い

Cグループ (「居場所」構築及び「脱出支援」) 8名

居場所に参加させたいという願望を持つ親の集まりとなった
例会参加を本人に促しているか 一平截は促している(3名は資料も渡す)
就労について

体力が減退、大工仕事は3ヶ月でダウン

就労経験が無い、人間関係が苦手な難い

アルバイトはしている、働くよりもボランティアでもやらせたい

会の進め方

土曜日 午後 土曜小学校の居場所に行きたい

土、日曜日の例会には出席困難なので平日の夜の会を希望

年齢別のグループを作りたい

父親も例会に参加させたい

Dグループ (学習グループ、小グループ活動の推進) 8名

岡山大学教育学部心理教育相談室で相談員をされている福田先生
(岡山南高)より相談室の概要紹介(予約制で相談は平日夜や土曜日)
メンバーからの質問にさっさと御答えをいただいた
仕事の途中で出席された方が夜向に集まる会があれば参加したい
相談先の選択の仕方、情報交換、資料配布を希望
就労の前段階としてのトレーニングの機会をほしい
1年間の薬エキスの服用結果を報告したい

Eグループ (グループインタビュー) 8名 (ボランティア2名)

親自身の心境の変化、子どもの変化、今後の会のあり方について質問
本音で話しをせよ、大成功だったと質問者の廣坂さん
7月例会でも第2回目を計画

岡山大学教育学部附属教育実践総合センター

『心理教育相談室』のご案内

教育実践総合センターでは、

夜間の時間帯や土曜日に心理相談に応じています。

幼児から児童・生徒に関する教育相談や思春期相談、
さらに学生や成人の心理相談にも応じます。

＜相談料：無料＞ ＊秘密は厳守いたします。

相談を希望される方は、下記までお気軽にお申し込みください。

受付電話/FAX 086-251-7728 (岡山大学・教育実践総合センター)

受付時間：月・火…10:00～16:00 水・木…10:00～15:00

金・土・日…受付なし

～パートナー会員・福田求さん(岡山南高教員)よりの紹介です～

NHK教育TV・「ひきこもりサポートキャンペーン」

7月29日(火) pm8:00～8:30 〈こころの相談室〉

『社会参加・就労への道』

ひきこもっている人が最初の一步を踏み出すにはどういうきっかけがあるのか、そして、最大の壁である《働く》ことへの壁は何なのか、どのような社会的サポートの可能性があるのでしょうか。

社会参加したい、就労したいという本人の切実な声、実際に行動に移してみてもつかる現実の壁をどう乗り越えたのかという体験例、もっとこんなサポートがほしいという社会への要望などを紹介しながら、あらためて「社会参加・就労」について、本人・家族・社会ができることを具体的に考えていきます。

8月26日(火) pm8:00～8:30 [6月24日分の再放送の予定]

『医療の援助が必要なとき』

[ゲスト] 斎藤 環 (精神科医)

岡山きびの会
連絡電話

0868-23-3294 川島 (会長・津山)

086-424-7162 織井 (事務局・倉敷)

[710-0815 倉敷市日吉町517-4]

070-5306-9539 花谷 (出石小, 土曜10～12時のみ)

※ いろいろなご事情で長期にわたって例会に参加できない場合は、
通信費・実費(半年¥1000, 1年¥2000)で、例会資料などをお送り
しています。

— 郵便振替口座「KHJ岡山きびの会」01380-6-77803 —